

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		公民館事業		担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73151	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	社会教育法第22条				
	小項目	1	生涯学習の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		市民を対象として、市内12公民館において、市民が求める生涯学習の場を提供することで、気軽に継続する学習活動に取り組めるよう図る。・クラフト教室、パソコン教室、スキー教室、料理教室、そば打ち教室、絵手紙教室、バスハイキング、歴史探訪、陶芸教室、ハーブ教室等								
目的 ※何のために		市民の生涯学習の場を提供するため								
対象 ※誰・何を対象に		市民								
手段 ※どのように		市内12公民館において学級講座を開催する。								
成果 ※何を求めるか		市民が気軽に学習活動及び文化活動に取り組めるよう図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[深谷公民館]	188,221
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[藤沢公民館]	198,083
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[幡羅公民館]	157,493
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[明戸公民館]	46,660
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	3	公民館費	学級講座等開設事業[大寄公民館]	129,042
本事業の 主な業務		・学級講座の開催							・	
		・家庭教育講座の開催							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		学級講座の開催 家庭教育講座の開催	学級講座の開催 家庭教育講座の開催				
事業費	予算(現額)	2,299,000	3,930,000	5,080,000	5,227,000		
	決算額	1,284,042	1,786,123	0	0		
	財源内訳	国支出金	64,000	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
	一般財源	1,220,042	1,786,123	5,080,000	5,227,000		
人件費	従事職員数(人)	0.02	0.05	0.05	0.05		
	人件費相当試算※	155,238	393,478	409,819	409,819		
総事業費試算		1,439,280	2,179,601	5,489,819	5,636,819		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	学級講座開催延べ回数		目標値	回	300.00					
			実績値		303.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		過去の実績をもとに、現状維持を目標とする。 / 事務事業執行状況表							
	実績値の算出式									
成果指標 1	学級講座参加者数		目標値	人	14,400.00					
			実績値		9,565.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各公民館平均年間1,200人とし、14,400人を目標値として設定する。 / 事務事業執行状況表							
	実績値の算出式									
成果指標 2	公民館利用者数		目標値	千人	600.00					
			実績値		493.94					
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	コロナ禍における公民館学級講座は、感染症予防対策を徹底しつつ、目標値と同等の事業数を計画することができた。 学級講座開催延べ回数(303回)は、目標値(300回)を達成することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	学級講座については、昨年度(2,392人)を大きく上回る実績(9,565人)となった。目標値と同等の開催数を計画したが、コロナ禍ということもあり、今年度の講座参加者数は目標値に達していない。 また、公民館利用者数(493.94千人)については、昨年度を上回る利用者数(493.94人)となった。コロナ禍ではあるが、年々増加していることなども考慮し、評価をBとした。
			評価者 生涯学習係長 荻塚 文彦

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	学級講座の参加者の多くは高齢者であるため、現時点では電子申請の活用は適さないものと判断するが、今後、参加者ニーズの把握に努め、事務改善や効率化を図る。
			評価者 生涯学習係 荻塚 文彦

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	令和4年度から、現在公民館を利用している社会教育団体、市民活動団体等に加え、営利団体等が行う生涯学習に資する活動等の利用を認め、市民の生涯学習・活動機会の拡充を図る。 なお、利用予約については、市民団体の利用を最優先とするよう制度設計する。
達成状況及び その効果	令和4年4月から公民館の利用の範囲を拡大し、営利団体や個人事業主などが公民館の利用を開始したところである。こうした取組により、公民館利用者数の増加（約16万人増）や公民館使用料の増加（約1000万円増）に影響があったものと判断する。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	公民館事業	担当課	生涯学習スポーツ振興課	担当係	生涯学習係	管理番号	73151
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <p>今後も、感染症予防対策を徹底し、市民ニーズに合致した学級講座を開催できるよう努める。</p> <p>また、令和4年度から公民館の利用の範囲を拡大したところであるが、今後も民間が実施する学級講座など、さらなる利用促進を図る必要がある。こうしたことから、令和7年度を目途に公民館の運営に指定管理者制度を導入するものとし、公民館の利用促進と効率的・効果的な施設運営を目指すところである。</p>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> 生涯学習スポーツ振興課長 荻塚 洋明					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	

8. 評価指標グラフ

